

かけはし

令和7年度 富士市立今泉小学校
—学校教育目標— 11月号
「やさしく たくましく」

校長

後期始業式で伝えたこと

10月も下旬を迎え、寒く感じる日が増えてきました。6年生が修学旅行で富士市を離れていた22日に、富士山は初冠雪を記録しています。そうかと思うと日中の気温が25℃を越え汗ばむような日もあり、寒暖差の激しい時期です。子供たちには衣服の着脱で体温調節をするなどして、体調管理に気を付けるよう声を掛けていきます。

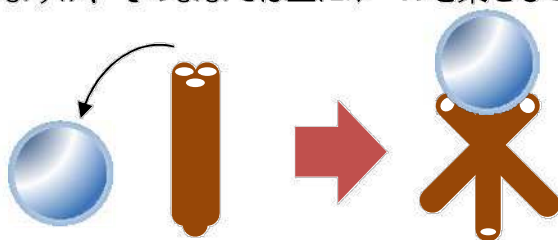
後期の始まりの式では、子供たちに次のような話をしました。

今日から、後期が始まります。新たな気持ちで、元気に学習や生活に取り組んで、学校の目標である「やさしくて たくましい」人になれるように、いろいろなことに挑戦して、笑顔いっぱいの学校をめざしてください。

前期の終わりには、河合純一さんの話をして、自分がこうなりたいと思ったら「どうせできないだろう」とか「難しいだろう」と、簡単にあきらめないことが大切だということを話しました。（中略）熱心に練習を繰り返してできたときのうれしさは、すぐにできた子の何倍も大きいだろうと思います。できるようにならなくても、簡単にあきらめない姿はとても素敵です。そんな様子がますます見られるとうれしいです。

また、簡単にあきらめない、ということは、同じことを何度も繰り返そうということではありません。今の自分の姿を振り返り、足りないことはないか、他の方法はないかと考えることも大切です。

例えば、ここに3本そろえた鉛筆がありますが、そのままでは上にボールを乗せることはできません。でも、3本の鉛筆の先を少し開いてあげれば乗るようになります。このように、どうしたらできるようになるか、見方を変えたり方法を変えたりすることも大切です。（略）



上手にできなかったり友達と同じようにできなかったりすると、すぐにあきらめてしまうことがあります。もちろん一人一人の能力や適性が異なるので、全員が同じ結果を得られるわけではありませんが、「目標とした自分の姿」に近づくために、粘り強く挑戦する力を備えてほしいと思っています。またその際には、単純に同じことを繰り返すだけでなく、その場の状況や自身の状態を捉え、それに応じて見方を変えたり取り組み方を変えたりして試みることも必要です。このような過程を経験し「できた」という達成感や「できる限りのことはやった」という充実感を味わいながら自己肯定感を高め、困難なことにもたくましく立ち向かっていく子供たちに育ててほしいと願っています。

12月のおもな予定

マチコミでの欠席等の連絡は 7 時 50 分までにお願いします！

欠席や遅刻等の連絡は、7 時 50 分まではマチコミ、それ以降の時間は電話 _____ にてお願いします。7 時 50 分以降はマチコミの確認はできませんので、ご協力をお願いします。

忘れ物をしてしまったら

どんなに気を付けていても、忘れ物をしてしまうことはあります。忘れ物をしてしまったときに、「どうしたらよいか」「次はどう気を付けようか」と自分で考えることも子どもにとって大切な学びの一つです。ですから、保護者の方から学校へ届けていただくことがないようにお願いいたします。

なお、どうしても必要な場合には、学校からご家庭にご連絡いたします。

北門が新しくなります

北門の門扉が新しくなります。設置工事期間は、11 月 21 日(金)から 1 週間程度の予定です。その期間、北門からの出入りはできなくなりますので、正門からの出入りをお願いします。

前期を振り返り、心新たに後期を迎えました

前期終業式 児童代表の言葉より

ぼくが前期に頑張ったことは、算数と授業中の発表です。

算数では、4年生になり、わり算の学習をしました。わり算の筆算では、計算の途中にかけ算や引き算が出てきます。今まで学習したことすべてを使うので、初めは大変でしたが、繰り返し練習して、今ではすばやく計算できるようになりました。

もう一つは授業の発表です。ただ発表するだけでなく、友達の発表を聞き、付け足したり、言いかえたりすることで、聞いている友達が分かるように発表することができました。

後期は、自分の意見により自信がもてるように、学習に取り組んでいきます。自分やクラスみんなが笑顔いっぱいになるようにがんばります。

後期始業式 児童代表の言葉より

私は前期、最上級生として、委員会やクラスでの係活動を頑張ってきました。後期は、運動会や修学旅行があります。尊敬される6年生になるために頑張っていきたいことが2つあります。

1つ目は、発表です。前期は、発表してだれかにばかにされるわけでもないのに、恥ずかしいし、緊張するという気持ちで自分から発表はできませんでした。しかし、先生にさされて正解をしたときには達成感があって少し自信につながったし、答えが間違っても自分が間違えたところをクラスで共有できて、ほかの人より知識を深めることができるので、後期では、自分から発表するということを頑張っていきたいです。

2つ目は、挨拶です。挨拶は知っている人にはできるけれど、知らない人には恥ずかしくてできない時があります。私は、挨拶をされたときにさわやかな気持ちになるので、それを相手の人にもかんじてもらうためにも、まずは、誰にでも挨拶することを目標にして頑張っていきたいです。